

国際赤十字・赤新月運動の基本原則

1965年(昭和40年)にウィーンで開催された第20回赤十字国際会議で、「赤十字基本原則」が決議され、宣言された。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動のなかから生まれ、形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない。」という「人道」こそが赤十字活動の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものである。

人 道 (Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、「赤十字・赤新月」という。)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 (Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中 立 (Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

独 立 (Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律にしたがうが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるようにその自主性を保たなければならない。

奉 仕 (Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 (Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世 界 性 (Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

はじめに

日頃から関係者各位、県民の皆様におかれましては、赤十字事業の推進にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

令和3年度は静岡県熱海市の土石流が、また、中国・九州地方においては、土砂災害や洪水が発生し、2月には、ウクライナに深刻な人道危機が勃発するなど、国内外を問わず多くの方が被災し、尊い命が奪われました。

私達赤十字は「救うを託されている」団体であります。このような災害や危機に対して日本赤十字社は、全社をあげ、救護班の派遣や、救援物資の搬送、義援金や救援金の募集などの活動を展開しました。

新型コロナウイルスは赤十字の活動にも大きな障害となりましたが、各施設において感染症対策を徹底しながら、懸命の活動を続けました。愛媛県支部では、災害発生時に派遣する救護員に対する研修や訓練をはじめ、命や健康を守るための講習、将来を担う、青少年の育成等を行いました。

また、松山赤十字病院では、多くの患者を受け入れ、献身的な看護を続け、地域医療、災害医療拠点としての重責を担っております。

愛媛県赤十字血液センターにおいても、協力事業所が減少している中、献血協力登録者の強化、予約献血の導入など、輸血用血液製剤確保に努めました。

ここに、令和3年度の事業報告にあたり、関係各位にあらためて感謝の意を表するとともに、引き続きなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和4年6月

日本赤十字社愛媛県支部

目 次

1. 災害救護	1
2. 救急法等の講習	6
3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動	15
4. 青少年赤十字	17
5. 国際活動	21
6. 医療事業	22
7. 血液事業	23
8. 赤十字思想の普及・広報	24
9. 会員、活動資金	24
10. 役員、評議員会	26
11. 令和3年度一般会計歳入歳出決算概要	28

1. 災害救護

災害救護業務は、赤十字の性格と使命上最も重要な事業の一つであります。

このことは、日本赤十字社法(昭和 27 年法律第 305 号)にも明示され、かつ災害救助法(昭和 22 年法律第 118 号)において、国または都道府県知事の行う救助業務に協力するよう義務付けられ、さらに災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号)により、指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を負っています。

令和 3 年度も、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が多発しました。当支部でも災害に備え、資器材の整備を行うほか、研修会や訓練の実施・参加をしました。

(1) 救護員育成

①救護員研修会

日本赤十字社における救護活動の位置づけ及び赤十字救護員の役割を認識し、今後の赤十字救護活動が迅速に遂行できるよう、共通認識を図るとともに、災害発生時における救護体制の確立を図ることを目的として、松山赤十字病院と協力し、次のとおり開催しました。

開催日及び受講者数

9 月 11 日 (土) 21 名

10 月 30 日 (土) 24 名

開催会場及び内容

- ・開催会場 松山赤十字病院
- ・内 容 災害サイクルに応じた救護活動 (講義)
医療救護活動における通信・情報伝達・記録 (講義)
通信機器の取り扱い (実技)
トリアージについて (講義)
START法による一次トリアージ (実技)・PAT法 (デモ)
こころのケア (講義・実技)
トリアージタグの書き方 (講義・実技)
医療資器材の取り扱い (実技)
救護所内活動 (演習)



②救護員の訓練

1) 愛媛県総合防災訓練 (令和3年度中止)

- ・開催日 9月4日(土) 予定
- ・開催会場 上島町弓削港駐車場予定

2) 松山市総合防災訓練

- ・開催日 11月3日(水・祝)
- ・開催会場 松山市立みどり小学校
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部2名
- ・種 目 南海トラフを震源とした巨大地震を想定した救護訓練

3) 日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練

- ・開催日 11月12日(金)・13日(土)
- ・開催会場 日本赤十字社香川県支部等高松市内
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部4名
- ・種 目 台風及高潮を想定した救護訓練
(災害対策本部及び救護所設営、避難所環境アセスメント及び巡回診療等)



(2) 救護員の登録・編成状況

「日本赤十字社愛媛県支部防災計画」に基づき、災害が発生した場合、その規模等に応じて、前述のとおり被災地に救護班を派遣し、被災者の医療救護に当たります。当支部では、支部及び松山赤十字病院、愛媛県赤十字血液センターの救護員からなる災害対策本部要員、血液供給要員(2班)、常備救護班要員(8班)を次のとおり編成し、救護体制をとっています。

なお、現場の状況に応じて、愛媛県安全赤十字奉仕団、愛媛県アマチュア無線赤十字奉仕団等特殊奉仕団及び防災ボランティアの応援協力を受けることとしています。

- ①日本赤十字社愛媛県支部災害対策本部要員 11名
- ②日本赤十字社愛媛県支部常備救護班 48名
(医師8名・看護師長8名・看護師16名・主事16名)
- ③日本赤十字社愛媛県支部血液供給要員 4名



(3) 救護資機材の整備状況

当支部は、円滑な救護活動を展開するため、下記救護資器材の更新整備を行いました。

- ・ 災害救護用車載型無線機（150MHz帯） 1式
- ・ DMA T活動用簡易無線機（400MHz帯） 12式
- ・ 災害活動用タブレット（パソコン併用型） 2式

(4) 救援物資の整備状況

① 災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金

災害救護物資については、災害により、住家の全焼・全壊・流失等の被害を受けた場合、毛布を原則として被災者1人に1枚、緊急セットを原則として被災世帯1世帯に1個配布しています。

また、災害見舞金については、自然災害により住家が全焼・全壊・流失した世帯に対し、1世帯につき見舞金20,000円を贈呈し、災害死亡者弔慰金については、住家の自然災害及び火災に起因する損壊(床上浸水・床下浸水含む)により死亡した場合、1名につき弔慰金20,000円を贈呈しています。※災害見舞金及び災害死亡者弔慰金の贈呈については県内に災害救助法(昭和22年10月18日付法律第118号)が適応された場合は適応除外となります。

贈呈状況は次のとおりです。

市町名	毛布(枚)	緊急セット(個)	安眠セット	タオルケット	弔慰金(円)
松山市	16	11			60,000
今治市	15	7			20,000
宇和島市	1	1			60,000
新居浜市	10	4			20,000
西条市	4	4			
大洲市	9	4			20,000
西予市	2	1			
東温市	2	2			
砥部町	2	1			20,000

内子町					20,000
伊方町	1	1			20,000
鬼北町		1			
愛南町	4	1			
合 計	66	38	0	0	240,000

(5) 防災ボランティアの養成状況

赤十字防災ボランティア研修会（令和3年度中止）

災害時に赤十字が実施する医療救護活動、救援物資の配布、情報収集や伝達、安否確認等の救護活動を側面から支援をするため、愛媛県支部に登録している赤十字防災ボランティアの災害時における知識等の育成を目的に実施しています。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

(6) 災害義援金の受付状況

国内各地で発生した災害に対し、義援金を受け付けました。集められた義援金は全額、各被災都道府県に設置された義援金配分委員会に送金され、同委員会が定める配分基準に従って被災者に届けられます。

■義援金受付状況（令和2年度愛媛県支部受付分）

名称	受付期間	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	4月1日～3月31日	5	86,922
平成30年7月豪雨災害義援金（本社取扱）	4月1日～3月31日	12	13,375,044
平成30年7月豪雨災害義援金（愛媛）	4月1日～3月31日	46	1,414,001
令和2年7月豪雨災害義援金	7月7日～3月31日	12	1,199,466
令和元年台風第19号災害義援金	4月1日～3月31日	1	469,812

(7) 防災・減災の取組み（赤十字防災セミナー、支部独自セミナー）

日本赤十字社防災教育事業

日本赤十字社は、全国各支部において「日本赤十字社防災教育事業」を行っています。本事業は、過去の災害の教訓を生かし、将来発生が予測される大規模災害から、人々のいのちを守るために、地域コミュニティにおける「自助」「共助」の知識等を高めるために地域住民や赤十字奉仕団を対象とし、実施しています。

実施状況は次のとおりです。

	開催日	場 所	参加者数
1	6月10日	愛媛県立農業大学校	40
2	7月9日	西条公民館	18
3	7月15日	今治市立朝倉中学校	80
4	8月24日	日本赤十字社愛媛県支部	2

5	9月14日	日本赤十字社愛媛県支部	2
6	10月4日	今治市立立花中学校	140
7	10月8日	今治市立常盤小学校	38
8	10月19日	日本赤十字社愛媛県支部	2
9	12月7日	松山市男女共同参画推進センター	43
10	12月11日	日本赤十字社愛媛県支部	20
11	12月14日	松山市男女共同参画推進センター	42
12	12月15日	砥部町中央公民館	17
合 計			444

なお、日本赤十字社防災教育事業のほか、愛媛県支部独自の内容で実施する防災講座5回開催しており、377名の受講がありました。

(8) 臨時救護

愛媛県支部では、西日本最高峰の石鎚山お山開きや、多数の人々が集まって行われる行事等などにおいて、臨時救護所を開設し看護師等の派遣を行っています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により派遣を予定していた行事が中止となったものがあります。

実施状況は次のとおりです。

行 事 名	派遣日	日数	派遣救護員延人数			取扱患者	備考
			看護師	主事	ボランティア		
愛媛県護国神社春季慰霊大祭	—	—	—	—	—	—	中止
石鎚山お山開き	成就社	—	—	—	—	—	中止
	土小屋	—	—	—	—	—	中止
	成就社	—	—	—	—	—	中止
松山まつり	—	—	—	—	—	—	中止
愛媛県護国神社秋季慰霊大祭	—	—	—	—	—	—	中止
四国地区人権教育研究大会	7月8日	1	1	0	0	0	
愛媛大会愛媛スポーツ・レクリエーション祭	10月24日	1	1	0	0	0	
愛媛県人権・同和教育研究大会	11月9日	1	1	0	0	0	
スマコレランドin松山ゴルフ倶楽部	11月14日	1	1	0	0	1	
合 計		4	4	0	0	1	

2. 救急法等の講習

救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法等の各種講習を赤十字基本原則である「人道」を具現化する重点事業として推進しており、日本赤十字社愛媛県支部救護装備・救援物資保管倉庫講習会場で定期開催をするほか、ボランティア指導員等の協力を得て県下各地においても開催しました。

(1) 各講習の活動概要（地域包括ケアにかかる活動を含む）

①ワールドファーストエイドデー

救急法等講習やボランティア活動等を多くの人に知ってもらい、併せて赤十字をより身近に感じてもらうことを目的として、献血者へチラシ等を配布しました。

- ・開催日 9月11日（土）
- ・開催会場 大街道献血ルーム
- ・内容 献血者へのチラシ、赤十字講習会のご案内、赤十字えひめの配布

②みんなDE防災トライアル

災害に対する自助・共助の意識向上を図るため、家庭や地域で日頃から備えておくべきことなどの防災講座及び非常炊き出し、応急手当等を実際に体験することにより「自助」の重要性を理解することを目的で開催を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響により中止としました。

③救急法

日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害でけがをした人や急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当や自動体外式除細動器(AED)の使用法及び応急手当の普及に努めました。



1) 基礎講習

番号	開催日	場 所	受講者数
	5月8日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
1	6月5日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	12
2	6月23日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	21
	8月10日・11日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	8月31日	日本赤十字社愛媛県支部3階 (聖カタリナ大学)	中止
	9月7日	日本赤十字社愛媛県支部3階 (聖カタリナ大学)	中止

	9月16日	聖カタリナ大学 北条キャンパス	中止
	9月17日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
3	10月1日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	20
4	10月5日	松山赤十字病院多目的ホール	26
5	11月4日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	13
6	12月2日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	14
7	1月10日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	17
	1月20日	松山学院高等学校	中止
	1月27日	松山学院高等学校	中止
	2月6日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
合 計			123

2) 救急員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
	5月29日・30日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	6月24日・25日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	8月24日～27日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	9月1日～3日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	9月8日～10日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	10月2日・3日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
1	11月10日・11日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	20
2	12月16日・17日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	29
	3月12日・13日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	
合 計			49

3) 指導員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
1	2/5・12・26・3/5・12	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	8
合 計			8

4) 短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	4月2日	松山赤十字病院	45
	4月4日	松山市西側集会所	中止
2	4月5日	松山赤十字病院	71
	5月21日	宇和島市立宇和島南中等教育学校	中止
3	6月2日	砥部町立麻生小学校	26
4	6月2日	松山市立雄新中学校	230

5	6月3日	松山市立雄新中学校	230
6	6月21日	松山大学	28
7	6月22日	松山市立松山南中学校	54
8	6月24日	中予教育事務所	20
9	6月25日	愛媛県立北条高等学校	26
10	6月28日	松前町立松前小学校	123
11	6月29日	松前町立松前小学校	112
12	6月29日	愛媛県立松山南高等学校	48
13	6月30日	今治市立朝倉小学校	72
14	7月5日	松山大学	41
15	7月8日	八幡浜市喜須来小学校	104
16	7月9日	愛媛県総合教育センター	15
17	7月13日	伊方町立大久小学校	25
18	7月13日	学校法人愛光学園	30
19	7月15日	今治市立朝倉中学校	25
20	7月16日	愛媛県立松山南高等学校 定時制	58
21	7月24日	愛媛県身体障がい者福祉センター	18
22	8月6日	まつやまファミリーサポートセンター	17
	8月18日	愛媛県研修所	中止
	8月23日	松山東雲中学・高等学校	中止
23	8月24日	日本赤十字社愛媛県支部	2
	8月25日	愛媛県研修所	中止
	8月27日	松山学院高等学校	中止
	9月1日	愛媛県研修所	中止
	9月8日	愛媛県研修所	中止
	9月15日	愛媛県研修所	中止
	10月13日	中予浄化槽管理協同組合	中止
24	10月4日	今治市立立花中学校	140
25	10月7日	東予教育事務所	51
26	10月8日	今治市立常盤小学校	76
27	10月17日	(株)アスレヤマト ASRE和	24
28	10月21日	東予教育事務所	53
29	10月24日	(株)アスレヤマト ASRE和	13
30	10月26日	ウェルピア伊予	33
31	10月27日	ウェルピア伊予	33
32	10月28日	ウェルピア伊予	33
33	11月7日	まつやまファミリーサポートセンター	15
34	11月9日	松野町立松野中学校	72
35	11月18日	まつやまファミリーサポートセンター	18
36	11月22日	愛媛県立松山商業高等学校	37

37	11月25日	南予教育事務所	43
38	11月30日	愛媛県立松山中央高等学校	31
39	12月3日	四国中央市立三島小学校	61
40	12月4日	松山市青少年センター	18
41	12月8日	おおぞら病院	23
42	12月9日	衣山クリニック	20
43	12月15日	砥部町中央公民館	17
	1月12日	愛媛大学医学部看護学科	中止
	2月19日	河原医療福祉専門学校	中止
	2月22日	松山市立道後小学校	中止
合計			2,231

④ 水上安全法

1) 救助員養成講習 I・II

番号	開催日	場 所	受講者数
1	7月17日・18日	松山コミュニティセンター温水プール 日本赤十字社愛媛県支部 3階講習室	中止
2	7月19日	日赤愛媛県支部 (聖カタリナ大学)	中止
3	7月29日・30日 (2日間)	伊予市五色浜海水会場	中止

2) 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
	5月12日	東予教育事務所	中止
	5月13日	南予教育事務所	中止
1	5月27日	日赤愛媛県支部 (松山市教育センター)	98
2	6月2日	砥部町立麻生小学校	25
3	6月24日	愛媛県中予地方局	20
	8月17日	伊方スポーツセンター	中止
合計			143

⑤健康生活支援講習

病気や障害等があっても、その人のできることを最大限に活かし、人としての尊厳を保ちながら、健やかな高齢期を過ごす、そのために健康の増進、病気の予防及び高齢者が自立した生活ができるよう介護の知識や技術の普及に努めました。



1) 支援員養成講習

番号	月 日	場 所	受講者数
	8月2日・4日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法講習室	中止
	12月4日・5日・12日	日本赤十字社愛媛県支部 救急法講習室	中止

2) 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	5月6日	松山赤十字病院	15
2	5月7日	松山赤十字病院	15
3	6月22日	JA えひめ中央 みなとまちまってる	22
4	7月5日	愛媛警察学校	86
5	8月5日	愛媛在宅介護研修センター	20
6	8月6日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	10
	9月7日	JA 日土出張所	中止
	9月8日	伊方町民センター	中止
	10月5日	宇和島市総合福祉センター	中止
7	10月8日	大島開発総合センター	30
8	10月13日	愛媛県県民文化会館 別館 第11会議室	21
9	10月21日	宮窪公民館	26
10	10月29日	伊予市中山地域事務所 2階 大ホール	61
11	11月9日	三崎保健福祉センター	20
12	11月26日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	25
13	12月2日	西条市総合福祉センター	38
14	12月7日	西条市禎端公民館	17
15	12月17日	松山市総合福祉センター	40
16	1月16日	松山赤十字病院	6
17	1月17日	松山赤十字病院	6

18	2月16日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
19	2月17日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
20	2月18日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
21	3月7日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	28
22	3月8日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	27
23	3月10日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	28
	3月13日	松山西側集会所	中止
24	3月27日	朝倉三世代交流センター	15
合 計			643

⑥幼児安全法

少子高齢の時代に即応し、こどもを社会全体で大切に育てるために、こどもに起こりやすい事故の応急手当と予防、こどもの病気に対する看病の仕方の普及に努めました。



1) 支援員養成講習

番号	月 日	場 所	受講者数
	7月14日～16日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	中止
	9月15日・16日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	中止
	11月6日・7日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	中止
	1月22日～23日・29日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	中止
合 計			0

2) 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	6月14日	日本赤十字社愛媛県支部3階講習室	22
2	6月22日	東温市総合保健福祉センター	16
3	6月25日	砥部町文化会館	8
4	7月28日	松山市ひまわり園	17
5	7月29日	大護さとやま認定こども園	9
	8月17日	松前町総合福祉センター	中止
	9月25日	こどもの国保育園	中止
6	10月27日	愛媛県男女共同参画センター	5
7	10月27日	NPO 法人輪い和い	20
8	11月10日	松山市ひまわり園	28
9	11月16日	今治市総合福祉センター	30
10	12月10日	松山東雲女子大学	52
11	2月22日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	28
12	2月24日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
13	2月25日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
14	3月15日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
15	3月16日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
16	3月18日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
合 計			380

⑦保健福祉事業

地域の人々の健康と幸せのため、各種事業を実施いたしました。

1) 赤十字巡回健康講座

地域の方々の健康増進と、疾病の早期発見に役立つ知識の啓蒙・普及を図るため、医師等による講演・個別健康相談、看護師による生活指導や簡易検査を行っている事業ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、開催予定の地域担当者と協議を重ねた結果、すべて中止となりました。

	開催日	場所	演題	参加者数
	7月21日	西条市東予 総合福祉センター	健康を守る食生活について	中止
	9月1日	宇和島市 総合福祉センター	尿のトラブルについて	中止

9月13日	八幡浜市 文化会館（ゆめみかん）	かすみとゆがみを生じる 目の病気	中止
9月28日	鬼北町 近永公民館	認知症予防について	中止
2月28日	新居浜市 総合福祉センター	健康に過ごすための予防学	中止
合 計			0

2) ひだまり赤十字

高齢者の健康と自立した生活を地域で支えあうことを目指して、フレイル対策、ストレッチ体操、レクリエーションを行います。今年度は実施なし。

3) むくもり子育て広場

乳幼児の子育て家族を支援するために、地域における昔遊びでの交流、子どもの食育・薬の使い方・虫歯予防・ベビーダンスなどから、地域の希望に合わせた講話と、幼児安全法のミニ講習、情報交換等を行いました。

実施状況は次のとおりであります。



	開催日	場所	演題	参加者数
1	10月20日	今治市 NPO法人 輪い和い	だっこでステップ 幼児安全法短期講習	20
2	11月16日	今治市 今治総合福祉センター	だっこでステップ 幼児安全法短期講習	30
合 計				50

4) 赤十字健康大学

長寿社会に向けた健康管理意識の普及・向上と、赤十字事業を広く理解していただくことを目的に松山赤十字病院との共催により、医師が講演を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催中止となりました。

5) 手つなぎ防災ひろば

地域赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校、地区・分区及び日本赤十字社愛媛県支部が協働し、防災講座、非常食の炊き出し、応急手当等を行いました。

この活動を通じて、異なる世代の交流を図るとともに、地域内の連携強化し、助け合うことの大切さを学びました。

実施状況は次のとおりです。

	奉仕団及び加盟校	開催日	場 所	参加者数	参加者数
1	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島小学校	12月3日	四国中央市立 三島小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	14 47 9 3 7 0 2 82
2	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立寒川小学校	12月13日	四国中央市立 寒川小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	10 47 5 3 10 0 2 77
	四国中央市 川之江赤十字奉仕団 四国中央市金生第一小校	2月2日	四国中央市立 金生第一小学校		中止
	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立松柏小学校	2月8日	四国中央市立 松柏小学校		中止
合計					159

3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動

(1) 活動概要

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的諸活動を通じて、社会のために役立ちたいという善意の人々が集まって組織された団体であり、地域あるいは職域の実践団体として身近な奉仕活動を行い、地域住民の福祉につながる社業の推進に大きな役割を果たしています。

地域奉仕団は、赤十字奉仕団愛媛県支部委員会のもと、モデル奉仕団の指定、赤十字奉仕団活動用物品助成金、地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会開催等により奉仕団活動の普及に努めています。コロナ禍における活動として、老健施設等へ手づくりマスクやナイロンガウンを作製して贈呈しました。青年・学生奉仕団は、支部イベントのスタッフ協力や献血推進運動への協力を努め、特殊奉仕団は、各団の特色や各団員の技能を活かした活動に努めています。今年度もコロナの影響で思うような活動に結びつきませんでした。

また、青少年赤十字メンバーや学生赤十字奉仕団員のOB・OGによって構成されている個人ボランティアも、引き続き活動のチャンスを伺っています。

結成状況及び事業概要は次のとおりです。

(2) 奉仕団等の編成、人数等

種 別	団 数	人 数
地域赤十字奉仕団	55	12,461
青年(学生)赤十字奉仕団	6	92
特殊赤十字奉仕団	3	302
合 計	64	12,871



①地域赤十字奉仕団

奉仕団名		備考	
市	松山市	2団	
	内訳	松山市	
		松山市北条	
	今治市	11団	
	内訳	今治市今治	休団中
		今治市玉川	
		今治市波方	
		今治市大西	
		今治市菊間	
		今治市吉海	
		今治市宮窪	
		今治市伯方	
		今治市上浦	
		今治市大三島	
今治市関前	休団中		

奉仕団名		備考	
市	西予市	5団	
	内訳	西予市明浜	休団中
		西予市宇和	休団中
		西予市野村	休団中
		西予市城川	
		西予市三瓶	
	東温市	1団	
	内訳	東温市	
	越智	上島町	4団
		内訳	上島町魚島
上島町弓削			
上島町生名			
上島町岩城			
上	久万高原町	4団	
	久万高原町久万		

市	宇和島市		4団
	内訳	宇和島市宇和島	
		宇和島市吉田	
		宇和島市三間	
		宇和島市津島	
	八幡浜市		1団
	内訳	八幡浜市・八幡浜保内	
	新居浜市		1団
	内訳	新居浜市	
	西条市		3団
	内訳	西条市西条	
		西条市東予	
		西条市周桑	
	大洲市		2団
	内訳	大洲市大洲	
		大洲市肱川	
	伊予市		1団
	内訳	伊予市	
	四国中央市		3団
	内訳	四国中央市川之江	
四国中央市伊予三島			
四国中央市新宮			

浮穴	内訳	久万高原町面河	
		久万高原町美川	
		久万高原町柳谷	
伊予	松前町		1団
	内訳	松前町	
		砥部町	
喜多	内子町		1団
	内訳	内子町	
西宇和	伊方町		3団
	内訳	伊方町伊方	
		伊方町瀬戸	
伊方町三崎			
北宇和	松野町		1団
	内訳	松野町	
		鬼北町	
南宇和	愛南町		5団
	内訳	愛南町内海	休団中
		愛南町御荘	
		愛南町城辺	
		愛南町一本松	
	愛南町西海	休団中	

②青年(学生)赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
青年・学生	青年	
	愛媛大学	
	松山大学	
	聖カタリナ大学	
	愛媛県立医療技術大学	
	松山東雲女子大学	休団中

③特殊赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
特殊	アマチュア無線	
	安全	
	青少年赤十字賛助	



(3) 会議、研修、訓練

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団委員長会議・研修会	4月21日	資料配布	
赤十字奉仕団中央委員会	5月28日（東京都）	WEB開催	1
第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月6日（高知県）	WEB開催	3
青少年赤十字賛助奉仕団総会	6月13日	資料配布	
安全赤十字奉仕団総会	6月	文書審議	
青年赤十字奉仕団連絡協議会総会・研修会	6月19日	書面開催	
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会・総会	7月17日（東京都）	WEB開催	1
第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	9月20日（島根県）	WEB開催	4
中予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会	10月20日		18
第5ブロック青少年赤十字賛助奉仕団 連絡協議会・研修会	10月28日～29日 （香川県）	文書審議	
ボランティア・リーダー研修会（地域奉）	10月28日～29日 （東京都）	WEB開催	1
〃（青年奉）	10月30日～31日 （東京都）	WEB開催	1
第5ブロック赤十字奉仕団研修会	11月11日（広島県）	WEB開催	1
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11月20日	中止	
青年赤十字奉仕団防災セミナー	12月11日		20
NHK海外たすけあい街頭募金	12月12日		40
愛媛マラソン救護ボランティア	1月30日	中止	
赤十字奉仕団愛媛県支部委員会・役員会	2月10日	書面開催	
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	1,923

4. 青少年赤十字

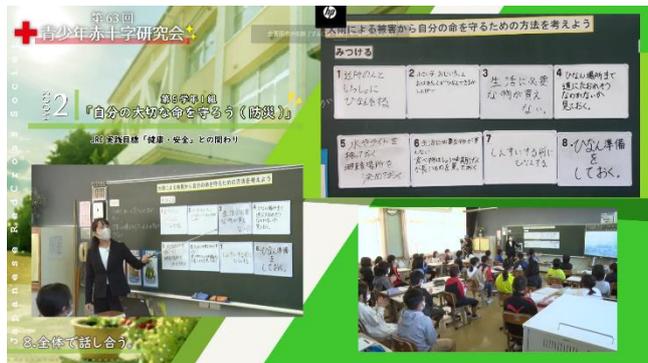
(1) 活動概要

青少年赤十字は、児童生徒が世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校・保育所(園)・幼稚園に組織され、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3項目を実践目標に活動しています。

当支部では、愛媛県教育委員会及び愛媛県青少年赤十字指導者協議会等と連携し、指導者講習会、高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター、研究会等を実施するとともに、「愛媛県青少年赤十字だより」を発行し、青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」児童生徒の育成に努めています。

また、青少年赤十字防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」の普及にも取り組んでいます。

加盟状況及び事業概要は次のとおりです。



(2) 加盟校概要

※ ◎印は新加盟、○印は再加盟、無印は継続加盟

市町別	校数	校種	学 校 名				
四国中央市	12	幼	愛 和	緑ヶ丘			
		小	川之江	金生第一	上 分	妻 鳥	松 柏
			三 島	中曾根	中之庄	寒 川	
		中	三島西				
新居浜市	11	小	金 子	高 津	惣 開	垣 生	神 郷
			泉 川				
		中	西	泉 川	中 萩		
		高	新居浜西	○新居浜商			
西 条 市	7	保	中川さくら	めぐみ			
		幼	めぐみ				
		小	三 芳	中 川			
			西条北				
		高	西 条				
今 治 市	45	保	白 鳩				
		幼	しまなみの杜	晴 心	空と海		
		小	吹 揚	別 宮	常 盤	近 見	立 花
			桜 井	富 田	清 水	日 高	乃 万
			波止浜	鳥 生	国 分	朝 倉	鴨 部
			九 和	波 方	大 西	亀 岡	菊 間
			吉 海	宮 窪	伯 方	上 浦	大三島
			岡 村				
		中	日 吉	近 見	立 花	桜 井	南
西	北 郷		朝 倉	玉 川	大 西		
菊 間	大 島		伯 方	大三島	関 前		
上 島 町	7	小	魚 島	弓 削	生 名	岩 城	
		中	魚 島	弓 削	岩 城		
松 山 市	79	保	生 石	堀 江	平 井	もものはな	えひめ乳児
			こどものくに	ひよこ	虹のそら		
		幼	愛大附属	愛 媛	愛媛星岡	さくら	花 園
			大 護	道後聖母	番 町	梅 花	松山星岡
		桃 山	コイノニア				

		小	愛大附属	番 町	味 酒	八 坂	東 雲
			新 玉	雄 郡	素 鷲	清 水	堀 江
			潮 見	久 枝	和 気	三津浜	宮 前
			高 浜	味 生	桑 原	生 石	久 米
			道 後	湯 築	余 土	湯 山	伊 台
			小 野	たちばな	椿	北久米	味生第二
			さくら	みどり	福 音	姫 山	浅 海
			難 波	立 岩	正 岡	北 条	河 野
			粟 井	中 島			
		中	雄 新	鴨 川	内 宮	津 田	余 土
			久 米	南	北条北	北条南	松山東雲
		高	愛大附属	北 条	松山南	松山商業	新 田
松山聖陵	松山東雲						
東 温 市	21	保	南吉井	双 葉	拝 志	南吉井第二	川 内
			上 林				
		幼	重 信	北吉井	川 上	東 谷	西 谷
			北吉井	南吉井	拝 志	上 林	川 上
		中	東 谷	西 谷			
			重 信	川 内			
高	東 温						
伊 予 市	12	小	南山崎	北山崎	郡 中	伊 予	中 山
			佐礼谷	下 灘	由 並	翠	
		中	港 南	中 山	双 海		
松 前 町	5	幼	エンゼル				
		小	北伊予	岡 田	松 前		
		高	伊 予				
砥 部 町	5	小	麻 生	宮 内	砥 部	広 田	
		中	砥 部				
久万高原町	12	幼	仕七川				
		小	明 神	久 万	畑野川	直 瀬	父二峰
			面 河	仕七川	美 川	柳 谷	
中	久 万	美 川					
大 洲 市	15	保	大 洲	喜 多	粟 津	菅 田	新 谷
			南久米	徳 森	五 郎	大 和	白 滝
			長 浜	肱 川	東大洲		
		小	粟 津				
		中	大洲東				
内 子 町	3	幼	内 子				
		小	石 畳	天 神			
八 幡 浜 市	9	小	松 蔭	白 浜	神 山	日 土	川 上
			双 岩	喜須来	川の石	宮 内	
伊 方 町	8	小	伊 方	九 町	三 机	大 久	三 崎
		中	伊 方	瀬 戸	三 崎		
西 予 市	22	保	西予市俵津	西予市野村			
		幼	野 村	惣 川	三 瓶		
		小	明 浜	多 田	中 川	石 城	宇和町

			皆 田 城 川	田之筋 三 瓶	野 村	大野ヶ原	惣 川	
		中	明 浜	宇 和	野 村	城 川	三 瓶	
宇和島市	14	幼	伊 吹	村 井				
		小	明 倫	宇和津	鶴 島	天 神	和 霊	
			住 吉	高 光	成 妙	三 間	二 名	
		中	城 南					
高	宇和島東							
松野町	3	小	松野東	松野西				
		中	松 野					
鬼北町	3	小	好 藤	三 島	近 永			
愛南町	23	保	家 串	柏	御 荘	はまゆう乳児	城 辺	
			緑	一本松	船 越			
		幼	あいなん					
		小	家 串	柏	平 城	長 月	城 辺	
			緑	僧 都	久 良	一本松	篠 山	
			福 浦	船 越				
中	御 荘	篠 山						



校 種	校(所・園)数	メンバー数
保 育 所	40	2,948
幼 稚 園	32	4,567
小 学 校	177	47,373
中 学 校	54	14,162
高 等 学 校	13	843
計	316	69,893

(3) 青少年赤十字メンバー対象の連絡協議会、トレーニングセンター

行 事	期 日	場 所	参加者数
第1回高等学校青少年赤十字協議会	5月22日	文書審議	
青少年赤十字高校生・中学生・小学生 合同トレーニング・センター	7月30日	えひめ青少年ふれあい センター	18
第2回高等学校青少年赤十字協議会	10月16日	日赤愛媛県支部	12
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11月20日	オンライン活用状況調査	
青少年赤十字高校生スタディー・プログラム	12月25日～26日	WEB開催	3
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	1,923

(4) 指導者対象の協議会、研修

行 事	期 日	場 所	参加者数
愛媛県青少年赤十字指導者協議会 総会・研修会	4月23日	文書審議	
第1回青少年赤十字常任委員会	5月15日	文書審議	
青少年赤十字高等学校指導者協議会	5月22日	書面開催	
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月29日	WEB開催	1
青少年赤十字指導者講習会	7月26日	えひめ青少年ふれあいセンター	10
第2回青少年赤十字常任委員会	8月19日	文書審議	
青少年赤十字指導主事研究会	9月30日	WEB開催	2
第5ブロック青少年赤十字指導者協議会長並びに青少年赤十字事務担当者会議	10月22日	WEB開催	2
第62回青少年赤十字研究会	11月5日	今治市立常盤小学校	108
第3回青少年赤十字常任委員会	2月19日	日赤愛媛県支部	19
愛媛県青少年赤十字だより	年1回	2,500部発行	

5. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界各地で発生している地震や干ばつ、洪水等自然災害や紛争などで苦しんでいる人々に対し、赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会及び各国赤十字・赤新月社と連携して、赤十字諸原則に基づき、救護・救援活動に取り組んでいます。

当支部では、これら日本赤十字社が行う国際活動の内、次の活動に参画しました。

○アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

近年、洪水やサイクロンなどの災害が近年世界的に増加し、安全な飲料水の供給や衛生状態の改善など、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。

日本赤十字社は、平成23年度から、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるよう「給水・衛生災害対応キット」を整備し、災害多発国又は地域に配備するとともに当該地域・国の赤十字社とともにスタッフの研修を行っています。災害発生時には要員を現地に派遣し、現地の赤十字社とともに給水・衛生活動を行います。日本赤十字社中国・四国9県支部はこれらの事業に対し、総額700万円(当支部負担829,350円)を援助しました。

6. 医療事業

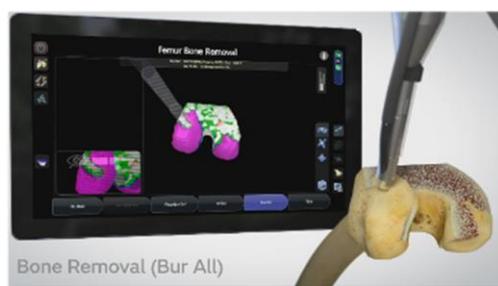
大正2年に日本赤十字社愛媛支部病院（現 松山赤十字病院）を開設して以来、医療事業を継続してまいりました。松山赤十字病院は県内唯一の赤十字病院として、その特色を発揮するとともに、松山医療圏における地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を図りながら地域住民に安全・安心な医療を提供できるよう努めております。

平成26年度から新病院建設事業（1期～3期）を進めており、平成30年1月に北棟がオープン、令和3年3月に南棟が全面オープンし、現在は令和4年度中のグランドオープンに向け、旧建物の解体及び平面駐車場等の整備を進めております。

また、令和4年2月には変形性膝関節症に対する人工膝関節置換の手術において、愛媛県及び全国の赤十字病院で初となる次世代型ロボット支援手術システム「CORI(Core of Real Intelligence) サージカルシステム」を導入しました。これにより、変形性膝関節症で悩む患者さんに、より質の高い医療を提供できるものと考えております。



グランドオープン完成予想図（令和4年度中）



CORI(Core of Real Intelligence)サージカルシステム

【基本理念】 人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

- 【基本方針】
1. 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
 2. 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
 3. 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
 4. 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
 5. 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
 6. 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。
 7. 健全経営の維持に努めます。

【病院概要】（令和3年度実績）

許可病床数 / 585 床

診療科目数 / 34 診療科

職員数 / 1,544 人（医師 213 人・看護師 778 人・その他 553 人）

患者数 / （外来）延患者数 385,224 人 ・ 1 日平均 1,055.4 人

（入院）延患者数 186,054 人 ・ 1 日平均 509.7 人

7. 血液事業

当支部においては、昭和40年3月に愛媛県赤十字血液センターを開設し、病気やけが等で輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、愛媛県をはじめ市町関係機関及び県民の皆様のご理解・ご協力によって、血液製剤の安全性の向上と安定的な供給に努めております。

また、愛媛県では次代の献血を担う、若年層への献血啓発にも力を入れておりますが、当期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、集合型イベントの実施を複数制限いたしました。

集合座学で実施しております「いのちの講座」についても、リモート手段を利用して実施いたしました。

【基本理念】 血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため 需要に応じた献血血液を安定的に確保し 安全性・品質向上に取り組み 献血者の皆様の想いを届けます

献血者数は次のとおりです。

献血種類	献血者数
200mL全血献血	162人
400mL全血献血	36,113人
血漿成分献血	11,403人
血小板成分献血	5,113人
合計	52,791人



クリスマス献血キャンペーン



いのちの講座（リモート）

8. 赤十字思想の普及・広報

赤十字思想の普及

社業の進展は、県民の理解と協力によって支えられており、情報機関への赤十字思想普及及び協力依頼を図るために、赤十字運動月間中に松山市役所別館と松山市社会福祉協議会に懸垂幕を掲示したほか、市内電車の窓上広告の掲示やラジオ CM の放送などを実施しました。

また、公式インスタグラムの運用を開始し、イベントの告知や報告をはじめ、より多くの方に赤十字事業を知っていただくために様々な記事を投稿しました。

そのほか、年間を通じて、次のような機関誌、印刷物等により赤十字思想の普及に努めるとともにホームページなどで積極的にイベント・講習情報を発信しました。

①機関誌・・・赤十字新聞(毎月発行)	1,200部(5月と12月は1,000部追加)
②印刷物・・・ポスター(赤十字運動用)	1,800枚
リーフレット	11,000枚
広報用チラシ	374,000枚

9. 会員、活動資金

日本赤十字社は、会員および協力会員の支援者から拠出される活動資金によって、国内災害救護事業や救急法等の各種講習などの事業を実施しており、その活動資金の募集は、主に自治会、奉仕団、法人、個人寄付者の皆さまのご協力によって支えられています。

令和3年度は、前年度同様に、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、感染防止に努めながら活動資金募集を行いました。厳しい状況が続く中、新たな層への依頼の実施や、近年増加傾向にある遺贈・相続財産寄付に対応すべく、赤十字終活セミナーを開催するなど、積極的に新規事業を実施しました。

(1) 会員概要

赤十字会員とは、日本赤十字社の目的に賛同し、支援してくださる方々のことです。会員は、自ら加入の意志があり、会費として年額2,000円以上のご協力をいただくことにより、個人・法人を問わず、加入することができます。

また、愛媛県支部においては、広く赤十字を支えてくださる支援者を募るため、年額500円以上のご協力を目安とした協力会員へのご加入も広く募集しております。

日本赤十字社の活動は、支援くださる皆さまによって支えられているため、一人でも多くの方に赤十字活動をご理解いただき、ご協力をお願いしております。

(2) 社資概要

市町名	目標額 (円)	実績額(円)			対目標額(円)	達成率 (%)	
		地区分募集分	本社直轄分	計			
市	松山市	66,170,000	46,589,874	1,669,000	48,258,874	△17,911,126	72.9
	今治市	22,577,000	18,151,706	738,000	18,889,706	△3,687,294	83.7
	宇和島市	11,202,000	8,663,758	173,000	8,836,758	△2,365,242	78.9
	八幡浜市	5,341,000	4,895,126	127,000	5,022,126	△318,874	94.0
	新居浜市	16,504,000	10,857,320	264,000	11,121,320	△5,382,680	67.4

	西条市	15,829,000	12,871,761	246,000	13,117,761	△2,711,239	82.9
	大洲市	6,594,000	5,648,053	40,000	5,688,053	△905,947	86.3
	伊予市	5,630,000	4,604,740	298,000	4,902,740	△727,260	87.1
	四国中央市	12,474,000	12,764,056	59,000	12,823,056	349,056	102.8
	西予市	6,073,000	5,580,460	8,000	5,588,460	△484,540	92.0
	東温市	4,839,000	4,015,926	77,000	4,092,926	△746,074	84.6
町	上島町	983,000	1,040,500	60,000	1,100,500	117,500	112.0
	久万高原町	1,369,000	1,269,900	12,000	1,281,900	△87,100	93.6
	松前町	4,280,000	4,300,560	48,000	4,348,560	68,560	102.8
	砥部町	3,162,000	2,289,943	98,000	2,387,943	△774,057	75.5
	内子町	2,680,000	2,675,215	34,000	2,709,215	29,215	101.1
	伊方町	1,600,000	1,907,830	10,000	1,917,830	317,830	119.9
	松野町	559,000	614,000	0	614,000	55,000	109.8
	鬼北町	1,620,000	1,354,204	0	1,354,204	△265,796	83.6
	愛南町	3,316,000	2,810,500	0	2,810,500	△505,500	84.8
支部	一般	9,000,000	—	—	39,046,616	—	—
	ダイレクトメール	—	—	—	6,977,028	—	—
	小計	9,000,000	—	—	46,023,644	—	—
県合計		201,802,000	152,905,432	3,961,000	202,890,076	1,088,076	100.5

(※病院への使途指定寄付金は除く。)

社業振興に伴う会議・研修会

会議・研修会名	開催日・会場	議題及び研修内容
地区区分職員研修会	中止 (資料送付)	1. 活動資金募集について <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社資募集実績について ・活動資金募集に伴う事務処理等について ・地区区分交付金について 2. 各種事業について
地区・分区長並びに 地区・分区主管課長合同 会議	中止 (資料送付)	1. 令和3年度活動資金募集等について 2. 令和4年度活動資金募集目標額(案)について 3. 令和4年度支部事業計画(案)について 4. 地区区分における赤十字事業について

(3) 企業等とのパートナーシップ

愛媛県支部は、CSR活動の一環として、企業様に対し「赤十字寄付金付自動販売機」や「募金箱の設置」の促進を行っています。

気軽にできる社会貢献活動として、多くの企業様からご活用いただいております。



(4) 赤十字大会

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し中止。

10. 役員・評議員会

(1) 愛媛県赤十字有功会の活動

愛媛県赤十字有功会は、日本赤十字社有功章を受章された方々で組織され、赤十字の人道的任務を支援し、赤十字事業の伸展に寄与することを目的に活動しています。

令和3年度は、青少年赤十字創設100周年記念缶バッジの作製に対し、助成いただきました。

令和4年3月末現在の会員数は、個人56名、法人112社、計168会員です。

(2) 令和3年度会計監査・業務監査(5月31日)

監査委員による、愛媛県支部及び松山赤十字病院の令和元年度会計監査並びに愛媛県赤十字血液センターの令和元年度業務監査を、松山赤十字病院において実施し、いずれも適正に処理されているとの監査結果でありました。

- ① 令和2年度一般会計歳入歳出決算について
- ② 令和2年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- ③ 令和2年度血液事業報告について

(3) 令和3年度第1回評議員会(コロナの影響により文書審議)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第1号議案 令和2年度一般会計歳入歳出決算について
- 第2号議案 令和2年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第3号議案 令和2年度血液事業報告について

(4) 令和3年度第2回評議員会(コロナの影響により文書審議)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第1号議案 令和4年度一般会計歳入歳出予算(案)について
- 第2号議案 令和4年度医療施設特別会計歳入歳出予算(案)について
- 第3号議案 令和4年度血液事業計画(案)について

役 員

(令和4年4月15日現在)

役 名	氏 名	職 名
支 部 長	中村 時広	愛媛県知事
副 支 部 長	菅 規行	愛媛県保健福祉部長
〃	武智 邦典	愛媛県市長会会長
〃	佐川 秀紀	愛媛県町村会会長
監 査 委 員	松原 剛史	松山市副市長
〃	土居 忠博	今治市副市長
〃	水野 邦洋	公認会計士
地区選出評議員	福山 勝幸	松山市地域協働団体連絡会会長
〃	大木 隆史	松山市社会福祉担当部長兼福祉事務所長
〃	西市 裕二	松山市社会福祉協議会常務理事
〃	藤野 誠	今治市連合自治会監事
〃	森田 悦子	今治市連合婦人会副会長
〃	宮本 直明	宇和島市自主防災組織連絡協議会会長
〃	松本 京子	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団委員長
〃	小野 正師	新居浜市社会福祉協議会会長
〃	伊藤 優子	新居浜市議会議員
〃	眞鍋 美知子	西条市西条赤十字奉仕団員
〃	福住 隆敏	大洲市社会福祉協議会会長
〃	篠崎 和子	伊予市赤十字奉仕団員
〃	石川 祐子	四国中央市伊予三島赤十字奉仕団委員長
〃	宗 正弘	西予市社会福祉協議会会長
〃	中村 英子	東温市赤十字奉仕団委員長
〃	宮川 阪光	上島町社会福祉協議会会長
〃	佐藤 理昭	久万高原町副町長
〃	徳居 芳之	松前町副町長
〃	岡田 洋志	砥部町副町長
〃	山岡 敦	内子町副町長
〃	濱松 一良	伊方町副町長
〃	八十島 温夫	松野町副町長
〃	井上 建司	鬼北町副町長
〃	木原 荘二	愛南町副町長
支部長選出評議員	大塚 岩男	愛媛県商工会議所連合会会頭
〃	河田 正道	愛媛県社会福祉協議会会長
〃	清水 一郎	愛媛経済同友会代表幹事
〃	高橋 英行	愛媛県議会環境保健福祉委員会委員長
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 代 議 員	松原 剛史	松山市副市長
〃	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長
〃	岡上 昌造	西予市社会福祉協議会常務理事
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 理 事	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長

11. 令和3年度一般会計歳入歳出決算概要

(単位：千円)

科目	決算額
活動資金収入	213,152
補助金及び交付金収入	3,407
繰入金収入	24,535
雑収入	2,549
前年度繰越金	57,797
歳入計	301,440
災害救護事業費	25,146
社会活動費	28,495
国際活動費	830
指定事業地方振興費	500
地区分区交付金支出	24,676
社業振興費	28,064
基盤整備交付金支出	12,946
積立金支出	57,762
総務管理費	30,187
資産取得及び資産管理費	1,716
本社総納金	31,673
翌年度繰越金	68,404
歳出計	310,399

※災害義援金は除く

施 設 一 覧

施 設 名	所 在 地	電 話 番 号
日本赤十字社愛媛県支部	〒790-0854 松山市岩崎町二丁目3番40号	089-921-8603 945-6792
松山赤十字病院	〒790-8524 松山市文京町1番地	089-924-1111
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町80-1	089-973-0700
愛媛県赤十字血液センター 大街道献血ルーム	〒790-0004 松山市大街道1丁目4-17	089-932-0900